

(様式例)

令和7年度 英語科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・相手の話していることの概要を理解することができた。
- ・様々なテーマに関するライティング活動を積極的に行ったことで、書くことの力がついた学年があった。
- ・パフォーマンステストを多く実施したことにより、思考・判断・表現の力を高めることができた。

(2) 課題

- ・まとまった英文を読み解く力をつける必要がある。
- ・習得した知識を活用する能力をつける練習をする。
- ・自分の身近なことに関して基本的な表現を用いて書く練習をする必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率 (経年比較)

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	目標を上回っている。		
第2学年	目標を上回っている。	目標を上回っている。 (第1学年時)	
第3学年	目標を上回っている	目標を上回っている (第2学年時)	目標を上回っている (第1学年時)

(2) 分析 (観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標を上回っている。 ・基本的な語句や文の意味は概ね理解している。 ・アルファベットを識別し、読む・書く力を十分に身につける必要がある。	・目標を下回っている。 ・会話を聞いて概要を捉える力を付ける必要がある。 ・自分に関することについて簡単な英語を用いて表現する力が必要である。	

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・与えられた情報から正確に英文を書くことができる。 ・文法を身に付け、語彙力を増やす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・日常的な会話を聞き取り、理解する力は高いが、対話の概要や英文の要点を考える力を養い伸ばす必要がある。 	/

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている ・単語の並べ替えや語形・語法の知識は定着している。 ・場面に応じた会話に必要な技能を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回っている。 ・まとまった英作文を書く力がある。 ・英文を読み解く力をさらに付ける必要がある。 	/

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・日常の書く活動の中で、文字の識別並びに基本的な単語の定着を図るように指導する。 ・新出の文法事項を学習する際には、それを活用したやりとりを反復して行い、聞き取る力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動やALTとの対話練習を通じて、さまざまなテーマで表現する力をつける。 ・自分に身近な内容について簡単な英語を用いて人前で発表することで表現力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークで会話に取り組みせ、英語に関する好奇心を高める。 ・帯活動での単語テストや様々な方法を用いたパフォーマンステストにより、授業に向けた学習の習慣を身につける。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・新出の文法事項を扱う際は、会話や対話文の中に取り入れ学習させ、文法だけではなく対話文にも慣れさせる。 ・読解の演習量を増やし、英語の資料やメールを読み内容を理解する力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内での生徒との英語の会話を増やし、英語での日常会話を理解する力をさらに伸ばす。 ・英作文の書き方を指導する時間を設け、英語を書くことに慣れさせる。添削をフィードバックを行い、書く力を伸ばし、やる気につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ目的を意識できるように振り返りの時間を設け、学習の見通しを持たせる。 ・生徒の努力を認める声かけを行い、前向きに学ぼうとする気持ちにつなげる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・意味がわかるようになった文を音読・暗唱して表現力につながる知識・技能の定着を図る。・「質問に答える力」の育成から「質問をする力」を伸ばすことに重点を移して言語活動を計画する。	<ul style="list-style-type: none">・帯活動での対話練習やパフォーマンステストを通じて、さまざまなテーマで表現する力をつける。・まとまった文を読む機会を増やし、要点を把握しながら読む力をつける。	<ul style="list-style-type: none">・帯活動で日常生活に関する英問英答、スモールトーク、絵の説明などを行い、積極的に表現する生徒を育てる。・ALT と少人数で対話を行い、既習表現が活用できることを実感させる。